

錦戸 正子 (1997・文)

D：福島県会津東山温泉コース

東日本大震災から1年8ヶ月が経ち、被災地から離れた場所にいる私にすると、震災のことを忘れがちになってしまっていました。また、実際の被害の甚大さが実感できずにいました。

特に、今回訪問した福島県の会津地方は、震災の被害はそれほど大きくなかったにも関わらず、農業や観光業に携わる方々がいまだに風評被害に苦しんでいることを学びました。

1日目に訪れた「フルーツランド北会津」「会津活・活自然村」では、直接、生産者の方から風評被害の現状とそれに立ち向かう取り組みについて話を聞き、自分が思っていた以上の被害の深刻さと、生産者の方々の力強さを感じました。その前向きな姿勢は私たちも見習うべきところでした。

また、福島県校友会の方から聞いた、福島県在住の人々の震災直後から現在の心境は、メディア等では伝えられることが少なく、直接、被災した方からしか聞くことができない本音もうかがうことができ、大変興味深く、勉強になりました。

私たちが見たのは福島県のほんの一部ですが、今回のツアーで見て、聞いて、食べて、学んだ福島の人々の力強さと温かさを忘れずに、一人でも多くの人に伝えていきたいと思います。